

# 古紙パルプ配合率乖離問題の再発防止策と環境貢献施策について

当社グループは、2008年1月に判明した古紙パルプ配合率乖離問題を深く反省し、再発防止策と環境貢献施策を定めて、これを進めております。

## 再発防止策

- ・技術部門及び品質保証部門に対する監査を含む内部監査の強化  
古紙パルプ配合率検証制度を構築し、2008年7月より運用を開始いたしました。9月には古紙パルプ配合率の内部監査を実施し、不備となる事項がないことを確認いたしました。
- ・CSR専任部署の設置等によるコンプライアンス推進体制の強化  
2008年4月に専任のCSR推進室を設置し、7月に当社グループ全体のコンプライアンス体制を統括する三菱製紙グループコンプライアンス委員会を組織いたしました。
- ・コンプライアンス教育、古紙・環境教育の充実  
2008年9月より当社グループ各社の全役員・全従業員を対象とするコンプライアンス教育を順次実施いたしました。また、2009年2月以降、古紙・環境教育を開始し、全従業員を対象にこれを進めております。

## 環境貢献施策

- ・環境配慮型商品の拡充  
主要な再生紙銘柄において、古紙パルプ配合率増加を検討し、設備対応のための改造を行い、2009年1月より古紙パルプ配合率を15%以上から25%以上に引き上げました。また、3月よりグリーン購入法の新基準に適合したコピー用紙の生産・販売を開始いたしました。
- ・植林と森林保全  
海外植林面積の合計は2008年末約27,000haに拡大し、目標とする44,000haを目指して取り組んでおります。  
国内森林の整備保全に関しましては、間伐を促進する「森の町内会」活動支援の一環として「森の町内会コピー用紙」を開発いたしました。活動に賛同する企業が2009年3月末現在で71社まで拡大しております。「FSC森林認証の森」サポーター制度においては、植樹イベント等を通じたサポーター企業と地元との交流を支援するとともに、拡大に向けた仕組みづくりに取り組んでおります。国内社有林（青森、福島）でのFSC森林認証の取得作業も進めております。
- ・新規設備の導入による環境負荷軽減  
エネルギー使用量と二酸化炭素排出量の削減のための省エネルギー起業を実施いたしました。また、八戸工場においてバイオマスボイラーの新設に向け、準備工事を進めております。



古紙・環境教育



FSC森林認証の事前審査